

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
ミュージックリテラシー 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	山中 一郎			実務 経験	有	職種	レコード会社、コンサートプロモーター勤務経験				
授業概要											
到達目標を実現するために必要となる、音楽業界における知識・テーマ（特に実技ではカバーされない範囲）を意識して計画される。具体的には、現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。講義のみならず、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。											
到達目標											
音楽ビジネスにおける様々な業界・職業の存在とその役割、それぞれの関係性を把握すること、自身の考えを表現したり、他者の意見から学ぶコミュニケーション力を身につけることを目標としている。と同時に、音楽業界における様々な職種の、いずれに進むことになっても、その他の職種への理解とリスペクトを持つことができるようになることを目標とする。											
授業方法											
到達目標を実現するために必要となる、音楽業界における知識・テーマ（特に実技ではカバーされない範囲）を意識して計画される。具体的には、現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。講義のみならず、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。											
成績評価方法											
* 試験と課題を総合的に評価する。 * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス：講師自己紹介を通じ、音楽業界への道をイメージする										
第2回	音楽業界全体像：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、音楽業界の全体像をつかむ。										
第3回	レコード会社の歴史：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、レコード会社の歴史を学ぶ。										

第4回	レコード会社の現在(1)：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、レコード会社の現在の姿を学ぶ。
第5回	レコード会社の現在(2)：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、レコード会社の基本的な業務を学ぶ。
第6回	音楽市場の変化：レコード店、ダウンロード、ストリーミングなど音楽の流通の変化を学ぶ。
第7回	マネージメント/プロダクション(1)：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、マネージメントの業務内容を把握する。
第8回	マネージメント/プロダクション(2)：（前回の続き）
第9回	マーチャンダイジングと知財(1)：マーチャンダイジング・ビジネスの基本を学ぶ。
第10回	マーチャンダイジングと知財(2)：マーチャンダイジング・ビジネスに関連する知財（商標権、肖像権、パブリシティ権）を学ぶ。
第11回	ライブ・エンターテイメント(1)：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、ライブ・ビジネスの歴史を理解する。
第12回	ライブ・エンターテイメント(1)：ライブ・ビジネスの基本を学ぶ。
第13回	著作権ビジネス(1)：アーティストが生み出すモノ（権利）を軸に、音楽出版社・JASRACについて学ぶ。
第14回	著作権ビジネス(2)：（前回の続き）
第15回	まとめ：前期全体のまとめ